

凍結保存したヒト精細管組織の融解条件の検討と体外培養技術の確立、mRNA導入の精子形成に与える影響の検討

1. 研究の対象

2020年3月1日～2030年3月31日までに精巣腫瘍・精巣内精子採取術・精巣外傷等、泌尿器科手術において精巣組織を摘除する手術を受ける患者さん

2. 研究目的・方法

本研究は、ヒト精細管組織を用いて以下の検討を行い、精子形成機構の解明や将来の不妊症治療法開発につなげることを目的とします。

- ・精細管組織の凍結融解保存方法の検討
- ・精細管の体外培養条件の検討
- ・脂質ナノ粒子（LNP）等を用いたmRNA導入後のタンパク質発現の確認
- ・精細管内における精子形成の有無の評価

対象となるのは、通常診療に伴って得られた余剰の精細管組織です。新たに研究のために組織を採取することはありません。得られた組織は個人情報を加工したうえで、当研究科および学内関連研究室において、凍結保存・体外培養・分子生物学的解析を行います。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2031年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：泌尿器科手術時により摘除された余剰の精細管組織
- ・情報：年齢、生年月日、診断名、手術歴、検査結果、治療歴、病理診断結果
個人を直接特定できる氏名、生年月日、カルテ番号等は個人情報を加工し、対応表は研究責任者が厳重に管理します。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究で得られた試料・情報は、原則として本学内で解析を行います。一部の解析を共同研究先（大阪大学微生物学研究所 遺伝子機能解析分野）と行う場合、個人情報に関する対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関：大阪大学医学部医学系研究科 泌尿器科 研究責任者：竹澤 健太郎

共同研究機関：大阪大学微生物学研究所 遺伝子機能解析分野 研究責任者：伊川正人

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部医学系研究科 泌尿器科学
〒 565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 臨床研究棟 5 階
TEL:06-6879-3531 FAX:06-6879-3539
e-mail jimu@uro.med.osaka-u.ac.jp

研究課題名：研究代表者：大阪大学医学部医学系研究科 泌尿器科 竹澤 健太郎